

中日の経済交流の促進を目指して

— 歓迎御挨拶 —

皆様、こんにちは。私は足利市経済活性化諮問会議会長の林明夫と申します。

本日は、団長の邵偉国(しょういこう)様はじめ、中国長江デルタ地域の企業家の皆様をお迎えし、このようなビジネス交流会が開催できますことは大変光栄でございます。皆様を心から歓迎いたします。ようこそ足利市にいらっしゃいました。

また、大変お忙しい中、株式会社東方インタナショナルの何毅雲(かいおん)社長様には、日本側の受け入れコーディネートとして御尽力いただき大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

私たち、足利市経済活性化諮問会議のメンバーは、昨年 9 月に大豆生田実足利市長より指名をいただき、足利市の経済活性化のために今後どのようなことをしなければならないかについて活発な意見交換を行い、株式会社東方インタナショナルの何毅雲社長様からも、本年 2 月に中国との経済交流の活性化について親しく御講演を賜り、本日のビジネス交流会開催に到りました。足利市経済活性化諮問会議は、4 月 6 日に足利市の経済活性化策について 613 もの具体的提言を中間答申として大豆生田実足利市長に提出、その中には中国との経済交流の促進が数多く含まれております。

個人的なことで恐縮ですが、私は経営者としての勉強が不足しておりますので、次の 3 つの古典を少しずつ勉強しながらその不足を補って、毎日の経営にあたっております。

その第 1 は、孔子先生の教えを説いた「論語」であります。私は、「論語」を通して、経営者としての高い志、使命とは何かを学んでおります。

その第 2 は、唐の時代の繁栄を築いた太宗の教えを説いた「貞観政要^{じょうがんせいよう}」であります。私は、「貞観政要」を通して、「創業と守成」、リーダーシップの発揮の仕方とは何かを学んでおります。

この「論語」と「貞観政要」の 2 つの古典は、今から 400 ～ 500 年前に足利学校を通じて日本全国に広められたものです。

その第 3 は、「孫子」であります。厳しい経済状況が続きますので、「孫子」を読み、この難局をどう乗り切ったらよいかを考えております。

中国から足利学校、日本に伝えられた 3 つの大切な古典を読み、また、5S を通して改善活動を進めながら毎日の経営にあたっております。

インドのことわざに「目には遠いが心は近い」というものがあります。中国と日本は距離は遠いですが、「論語」や「貞観政要」、「孫子」といった古典を読み、「5S」を通して改善の取り組みをするという志、心は同じで、心は近いといえます。

結びとなりますが、長江デルタ地域の企業の皆様と足利市の企業が「論語」や「5S」を通して志を同じくして、草の根のビジネス交流を深めることにより、両国の企業の発展、経済発展、両国の平和の構築に結びつくことをお祈りし、歓迎の御挨拶といたします。

ようこそ足利市にいらっしゃいました。

感謝